

千葉県市川健康福祉センター発 いちうら感染症情報

「2023-10月②」 定期号

2023年10月26日配信

平素より地域の感染症対策にご協力いただきありがとうございます。

- ・医療機関向け情報には(医)を、一般施設向け情報には(一)をつけています。
- ・2023年第41週は10月9日～10月15日、第42週は10月16日～10月22日です。

ご覧いただく際に参考にさせていただければ幸いです。

10月号第2回目の配信となります。原則毎月第2・4木曜日に配信し、新たな通知や感染症情報等がある場合、随時臨時号を配信いたします。

1



全数報告感染症情報

※市川保健所管内の直近5週分の感染症発生動向状況は、メールの添付資料（「2023.38週～42週」.pdf）をご確認ください。

●管内の状況（報告のあった疾患のみ掲載しています）

2023年第41週、第42週

二類感染症	2週分	累計（年）
結核	1	67
四類感染症	2週分	累計（年）
レジオネラ症	1	6

五類感染症	2週分	累計（年）
梅毒	1	22
侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	4

2



発生動向トピックス

●4月1日から9月30日までの上半期の管内の感染症発生動向は以下のとおりです。

二類感染症	
結核	55

三類感染症	
腸管出血性大腸菌感染症	13
細菌性赤痢	1

四類感染症	
レジオネラ症	5
E型肝炎	2

五類感染症		五類感染症	
百日咳	3	後天性免疫不全症候群	6
侵襲性肺炎球菌感染症	2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1
梅毒	14		
アメーバ赤痢	3	CRE	1
ウイルス性肝炎	3	VRE	1
侵襲性インフルエンザ菌感染症	3		
水痘(入院例)	1		

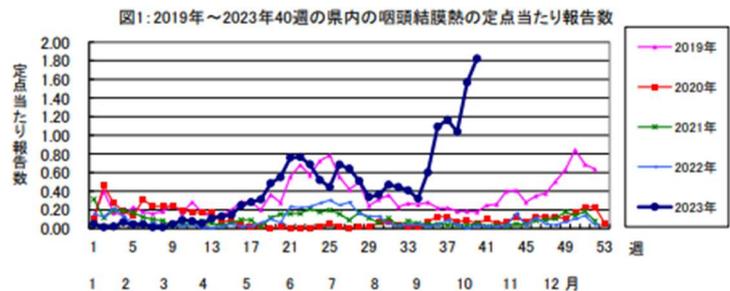
<集団発生事案数>

感染性胃腸炎 9件 新型コロナウイルス感染症 26件 インフルエンザ 24件 その他 9件

●咽頭結膜熱の定点当たりの報告数が、現行サーベイランス開始以降同時期と比較して最高値となりました。

2023年第40週に県内の小児科定点医療機関から報告された咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、1.82(人)でした。過去5年間の同時期と比較して最高値となります。なお、全国における発生状況についても、過去5年間の同時期と比較して多いことが報告されています。

国立感染症研究所の報告によると、従来咽頭結膜熱は夏に流行のピークが認められる感染症でしたが、2003年以降は冬にも明らかなピークがみられるようになりました。2023年は例年とは異なり、秋に流行のピークがみられています。市川管内では、横ばいで経過しています。



咽頭結膜熱は、アデノウイルス3型、4型、7型、11型などを原因とする急性ウイルス性感染症です。呼吸器疾患、流行性角結膜炎などの眼疾患、感染性胃腸炎などの消化器疾患、出血性膀胱炎、尿道炎などの泌尿器疾患や肝炎なども起こします。県内では流行性角結膜炎の定点当たり報告数も2週連続で増加しています。感染対策は、こまめに手洗いを実施し、タオルなどの共有をしないこと、ドアノブや手すり、おもちゃ等はこまめに次亜塩素酸ナトリウム等で清掃、消毒するなどです。

引用・参考

厚生省：IDWR 感染症週報 38週 <https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/idwr/IDWR2023/idwr2023-38.pdf>

国立感染症研：IASR アデノウイルス感染症

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/aden-pfc-m/aden-pfc-iasrtpc/10290-494t.html>

●令和5年10月16日付けで、野鳥における高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）の検出について情報提供がありました。

北海道で令和5年10月4日にハシブトガラス1羽の死亡個体より、A型鳥インフルエンザウイルスの陽性反応が確認され、同日遺伝子検査により高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出されました。今シーズン1羽目の野鳥における高病原性鳥インフルエンザの確認事例になります。野鳥サーベイランスにおける全国の対応レベルを「対応レベル2」に引き上げられました。詳細の内容につきましては、下記のホームページをご覧ください。

野鳥における高病原性鳥インフルエンザ発生状況について https://www.env.go.jp/press/111118_00102.html

3



インフルエンザ感染症

●10月13日付けで、厚生労働省より「今シーズンのインフルエンザ総合対策の推進について」発出されました。

季節性インフルエンザのウイルスには、A(H1N1)亜型、A(H3N2)亜型、2系統のB型の4つの種類があります。流行しやすい年齢層は、ウイルスの型によって多少異なりますが、今年も、全ての年齢の方がインフルエンザに注意する必要があります。今シーズンは、例年より早く本格的な流行が生じる可能性があるため注意が必要です。関係機関の皆さまにおかれまして

は、正しい知識と感染対策、予防啓発の周知にご協力をお願いいたします。詳細の内容につきましては、下記のホームページをご覧ください。

厚労省：今シーズンのインフルエンザ総合対策について <https://www.mhlw.go.jp/stf/index2023.html>

厚労省：インフルエンザQ&A（令和5年10月13日版）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/QA2023.html

●**定点報告数(下図)は2023年第41週、第42週における定点各医療機関からのインフルエンザ報告数をまとめたものです。**

＜市川保健所管内インフルエンザ発生状況＞

(人)

	A型	B型	A+B型	AorB型※	臨床診断
報告数	626	2	0	0	17

※型非鑑別キット

(医療機関からの型報告なく不明な183例を除く)



●**臨時休業週報数(下図)は、2023年第41週、第42週における学校等欠席者・感染症情報システムからの学級・学年閉鎖等をまとめたものです。**

第41週

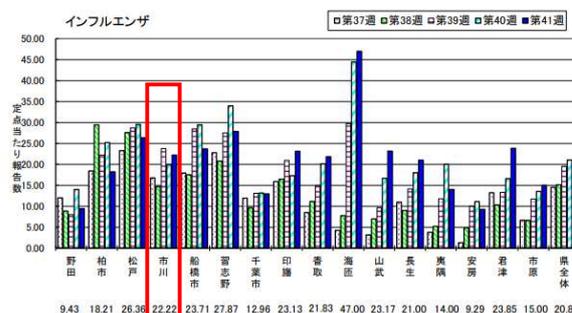
	休校数	学年閉鎖校数	学級閉鎖校数	計
保育所	0	0	0	0
幼稚園	0	0	0	0
小学校	0	0	18	18
中学校	0	2	7	9
高等学校	0	0	0	0
その他	0	0	0	0
計	0	2	25	27

第42週

	休校数	学年閉鎖校数	学級閉鎖校数	計
保育所	0	0	0	0
幼稚園	0	0	0	0
小学校	0	1	31	32
中学校	0	1	18	19
高等学校	0	0	0	0
その他	0	1	0	1
計	0	3	49	52

●**インフルエンザによる報告数は減少傾向です。**

第41週の県全体の定点当たり報告数は、前週の21.05(人)から減少して20.86(人)でした。報告数の多かった地域は、保健所管内別で海匝47.0(人)、習志野27.9(人)、松戸26.4(人)となりました。**市川管内の報告数も、前週より増加して22.22(人)となりました(右図)。**



2023年第41週に県内で報告のあった3956例

のうち、A型3583例(90.5%)、B型6例(0.1%)、A型とB型両方陽性3例(0.07%)、型非鑑別キットで陽性364例(9.2%)であり、A型が多いです。

インフルエンザを予防する一般的な方法としては、以下があげられます。

- ①こまめな手洗い
- ②適度な湿度の保持
- ③十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ④人混みや繁華街への外出を控える
- ⑤室内ではこまめに換気する
- ⑥ワクチン接種

さらに、施設内では流行時に健康観察の強化、手洗いの徹底、咳エチケットにご留意ください。

千葉県:インフルエンザ発生状況 <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202341influenza.pdf>

4



新型コロナウイルス感染症

● 定点医療機関による感染者数の報告は減少傾向です。

第41週の県全体の定点当たり報告数は、前週(2023年第40週)の6.17(人)から減少して、3.75(人)でした(図1)。報告数が多かった地域は、保健所管内別で長生5.86(人)、海匝5.5(人)、君津5.15(人)となりました。市川管内の報告数も、前週から減少して2.39(人)となっています(図2)。

図1

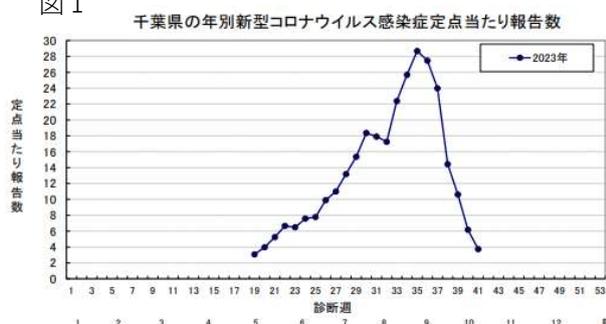
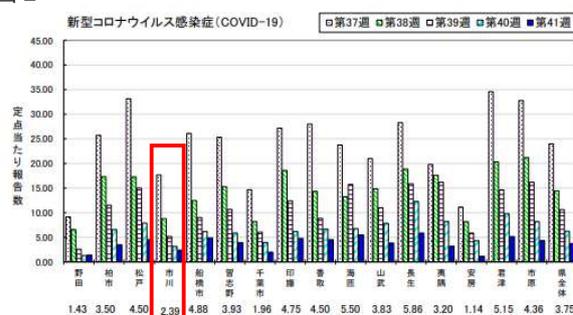


図2



新型コロナウイルス感染症対策のポイントは、以下があげられます。

- ①室内の換気
- ②手洗い、手指消毒
- ③マスクの着用を含む咳エチケット (特に、通院時や高齢者施設を訪問する時)
- ④環境消毒 (アルコールや次亜塩素酸ナトリウム)

さらに、施設内では流行時に健康観察の徹底、環境消毒の強化、手洗いの励行、咳エチケットにご留意ください。

【参考・引用】

千葉県:新型コロナ感染者の発生状況 <https://www.pref.chiba.lg.jp/eiken/c-idsc/documents/202341covid19.pdf>

首相官邸:感染症対策へのご協力をお願いします(手洗い・咳エチケット) <https://corona.go.jp/prevention/pdf/kansen.pdf>

厚労省:新型コロナ 夏の感染対策のポイント https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1

国立感染症研究所:新型コロナウイルス感染症サーベイランス速報・週報:発生動向の状況把握

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/2019-ncov/2484-idsc/12015-covid19-surveillance-report.html>

リーフレット「令和5年度 新型コロナワクチン接種についてのお知らせ」 <https://www.mhlw.go.jp/content/001068244.pdf>

厚労省:新型コロナウイルス感染症 一般向け Q&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

🎗 HIV 抗体検査実施予定日 🎗**検査実施日：11月16日 13:30～****(予約開始日は、11月6日 9時～)****検査内容：HIV、梅毒、クラミジア、淋菌、B型肝炎、C型肝炎****問い合わせ・予約方法：市川保健所疾病対策課 電話にて要予約**

* 検査実施に関する詳細、他日程につきましては、ホームページをご覧ください。

市川保健所: HIV 抗体検査・肝炎ウイルス検査のご案内

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kf-ichikawa/kenkousoudan/hiv.html>

千葉県では、休日街頭 HIV 検査も実施しております。検査実施に関する詳細、他日程につきましては下記のホームページをご覧ください。

千葉県: 休日街頭 HIV 検査 <https://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/kansenshou/kyuujitu.html>**最後に**

- ・登録アドレスの廃止、変更等は下記アドレスまでご連絡をお願いします。
- ・いちうら感染症情報は、毎月第2・4木曜日を配信予定としていますが、事情により配信が遅れる場合があることをご了解ください。
- ・いちうら感染症情報の内容は主に公的機関の情報を基に作成し、できる限り最新で正確な情報発信に努めておりますが、各登録機関の責任においてご利用ください。
- ・また、メールの安全性についても千葉県の情報セキュリティ対策により安全性の確保を図っておりますが、各登録機関におかれましてもセキュリティ等の注意をお願いいたします。

【配信元】

千葉県市川健康福祉センター（市川保健所）

いちうら感染症情報

ichiurainf@pref.chiba.lg.jp

